

## 立体地図手順書

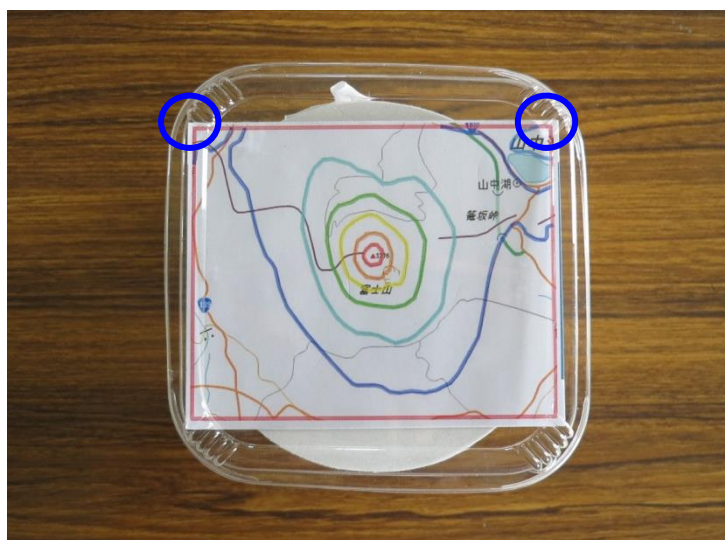
### 1. 用意するもの

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| 等高線を明示した地形図（11cm×11cm 以内） | 1 枚/人                                    |
| 両面テープ（2cm 程度）             | 2 枚/人                                    |
| プラスチックどんぶりの蓋（透明）          | 6 枚/人                                    |
| 油性マジック                    | 1 本/人                                    |
| 土台                        | 1 個/人（粘着テープ、トイレットペーパー、空き瓶等 直径 11.5cm 以内） |



### 2. 立体地図の作り方

- 1) 地形図の裏に両面テープを貼る
- 2) 土台に1) を載せ、ずれないように固定し、その上に蓋を載せる



※蓋を載せる際、地形図の右上、左上の角が蓋のそれと接するようにしておくと、等高線を重ねた時のずれを小さくできます。

- 3) 2) の蓋の上からマジックで等高線（1 本）をなぞる
- 4) 3) を繰り返す
- 5) 土台を取り除き、地形図、1 番目の蓋、2 番目の蓋・・・と重ねる
- 6) 地形が立体的に見えたら完成



### 3. 注意点

- ※土台は等高線をなぞる時の台になります。作業する机や取り組む人の身長などを考慮し、作業のしやすいものを選定してください。
- ※両面テープは、土台の上で地形図がずれないようにするためのものです。
- ※厚紙に地形図を貼り付けて土台に載せる方法もあります。厚紙が下敷きの役割をします。厚紙は、段ボールを切ったものでも可能です（11cm×11cm 以内）。
- ※蓋に付いている「プラ」などのマークを常に右上、下など決めておくと重ねる時にキレイに重ねることができます。
- ※蓋は、等高線の数に合わせて用意して下さい。
- ※参考で示しています地形図は、作業しやすいように標高ごとに予め着色しています。

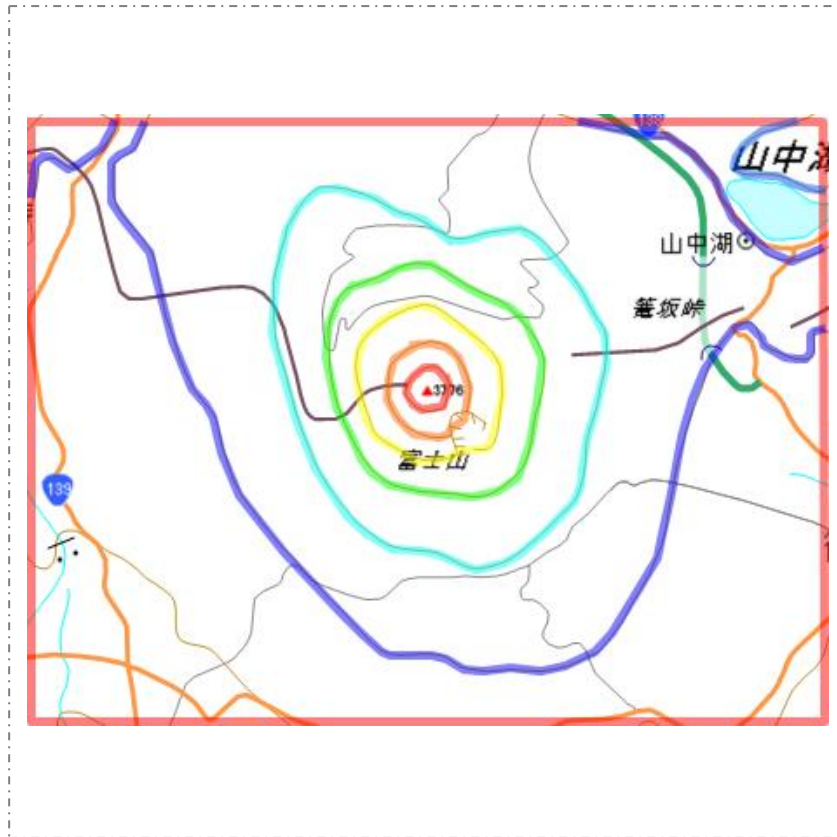
### 4. 参考情報

プラスチックどんぶりの蓋（透明）

<http://www.propack-kappa.com/shopdetail/126003000010/> 288 円/50 枚

富士山付近の地図（国土地理院 HP）

<http://maps.gsi.go.jp/#11/35.356856/138.722305/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0l0u0t0z0r0f0>



とうこうせん いろ  
等高線の色

—	: 1,000メートル
—	: 1,500メートル
—	: 2,000メートル
—	: 2,500メートル
—	: 3,000メートル
—	: 3,500メートル

□用紙サイズに合わせて印刷する にチェックしないで印刷してください。  
破線は切り取りの目安です。(11cm×11cm)